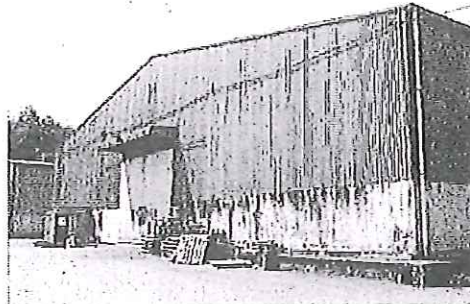


東南アで住宅建設事業

サムシングHD

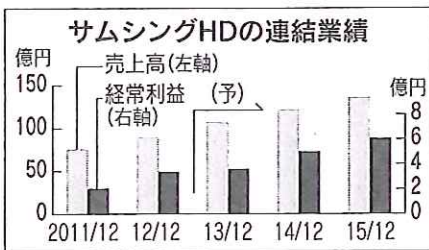


サムシングHDが住宅部材の生産を始めるベトナムの工場

地盤の調査・改良を手がけるサムシングホールディングス(HD)は東南アジアで住宅の建設事業を始める。ベトナムで柱や壁となる建築部材を工場生産して現地の建設会社へ供給するほか、集合住宅や戸建ての建設請け負いに乗り出す。地盤の調査・改良事業と並行して新興市場を開拓、部材販売と施工で2017年12月期に400棟の売り上げを目指す。

まずはベトナム 現地企業に部材

今月中にホーチミンに住宅事業の現地法人を新設する。柱や梁(はり)など金属製の部材や、壁や床として組み上げるパネル式のコンクリート部材の工場生産を近く始める計画だ。生産した住宅部材を活用して自社で施工するほか、現地の建設会社へ販売する。ベトナムに加え、将来的にはカンボジアやマレーシア、インドネシアといった近隣国への供給も視野に入れる。



▼地盤改良 住宅やオフィスビルのような建築物のほか、橋梁などを整備する際、地盤を安定させるため、人工的な改良を加えること。水を抜いて土を入れ替えたり、セメントなどを使って地中に柱や壁を埋め込み強化したりする方法など様々な技術が開発されている。

また東南アジアでは住宅や商業施設の新設、市街地の再開発といった案件が増加、建設市場が拡大している。地場の建設会社や作業員の技術水準がまだ低く、施工品質を確保しやすい工場生産の部材を活用した工法が有効と判断した。

また東南アジアでは住宅や商業施設の新設、市街地の再開発といった案件が増加、建設市場が拡大している。地場の建設会社や作業員の技術水準がまだ低く、施工品質を確保しやすい工場生産の部材を活用した工法が有効と判断した。